

京丹波

みどりの めぐみ紀行

緑の恵みいっぱいのふるさと

京丹波町を **味わう**・**感じる**・**遊ぶ**・**観る**



琴滝



冬ほたる



長老ヶ岳



丹波自然運動公園



質志鐘乳洞



鮎



丹波黒大豆



丹波栗



七色の木



和知太鼓



和知人形浄瑠璃



大納言小豆



丹波松茸

ようこそ 京丹波町へ

四季折々に彩りを変える山々、清らかで澄んだ川の流れ、丹波ブランドを生み出す豊潤な大地。自然の恵みを受けながら悠久の歴史の中で育まれてきた風土や伝統文化などが今も脈々と息づく京丹波町。あなたに癒しと潤いをもたらす町。ぜひ、京丹波にお越しください。



町のプロフィール

京都府の中央部、丹波高原の由良川上流部に位置する京丹波町は、平成17年10月11日、丹波町・瑞穂町・和知町が合併して誕生しました。人口約16,000人、面積は303.7km²。標高400~900mの緑深き山々に囲まれ、南側の山地は分水嶺の一部を成しています。古くから都と山陰地方を結ぶ交通の要衝として栄え、現在も京都縦貫自動車道やJR山陰本線、3つの国道が交わり、京阪神など大都市圏へ1時間台で移動できるなど比較的交通環境に恵まれた地域です。京丹波町では、丹波高原の気候、風土を生かして質の高い農林産物が生産され、府内有数の酪農地帯であるなど、総合的な食の供給地としての産地が形成されています。四季折々にその姿を美しく変える「琴滝」や、京都府内唯一の縦穴式鍾乳洞「質志鍾乳洞」、丹波高原の雄峰「長老ヶ岳」などの景勝地があり、特に紅葉シーズンには多くの観光客が訪れます。また、歴史ある建造物や史跡も多く見られるほか、古くから受け継がれてきた民俗芸能の保存活動も盛んに行われています。

京丹波町 食のキャラクター「味夢くん」



味わう

丹波高原の雄大な大地で培われた「丹波黒大豆」や丹波栗などの「丹波ブランド」産品。それらを使い、地域の人が丹波精だめて生産する加工品や郷土料理の数々を、あなたにとってお気に入りの京丹波の食が見つかるはず。

P3・4へ



野菜



大納言小豆



丹波栗



丹波黒大豆



丹波牛



加工品



丹波松茸



ハタケシメジ

感じる

「琴滝」「長老ヶ岳」「質志鍾乳洞」など自然の雄大さや癒しを感じる観光スポットとして年間を通じて多くの人が訪れます。

P5へ



琴滝



質志鍾乳洞



長老ヶ岳

遊ぶ

自然と触れ合うことで美しさや雄大さを知り、時間を忘れてゆったりとしたひと時を過ごす。「自然の中で遊ぶ」「スポーツを楽しむ」「体験する」、そんな自然の良さを満喫できる観光施設です。

P6へ



ウッディバルわち



グリーンランドみずほ



わち山野草の森

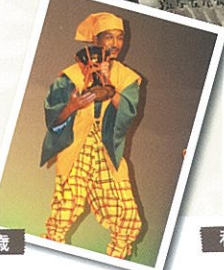


丹波自然運動公園

観る

心揺さぶる太鼓の響き、踊りの粋な掛け声、そして人を和ませる笑いの芸。京丹波には、歴史を繋ぐ伝統の技が数多く伝承されています。また、古くからの多い文化財も多く、文化財をゆめりの文化財もたくさんあり、古き文化を引き継ぎ、悠久の時間を感じることが出来ます。

P7~10へ



小畑万歳



和知太鼓



塩谷古墳公園



和知人形浄瑠璃



高級和菓子で活躍を続けるいぶし銀

【大納言小豆】

粒が大きくて色艶が良いのが特徴です。煮ても腹切れしにくいことから名がついた大納言小豆。味、風味ともに優れた逸品。和菓子や赤飯に最適です。

食のニューヒーロー
【ハタケシメジ】
きのこ独特の苦味が少なく、大粒でシャキシャキとした食感とジューシーさが最大の特徴です。食物繊維やビタミンも豊富で体にも優しい逸品。



秋の味覚の王様

【丹波松茸】

秋の味覚の王様といえば丹波松茸。京丹波産の松茸は、香りの高さで全国に知られています。

味わう 京丹波町の おいしいもん図鑑

京丹波町には、ほんまもんがある。黒大豆、小豆、栗……。京丹波の気候風土の恩恵を受け、豊かな自然環境の中で、丹精込めて育てられている「丹波ブランド産品」の数々。



伝統の京野菜 【みず菜】

京都のみず菜は千筋京みず菜ともいわれ、葉柄が繊細で細く白く、葉の緑とのコントラストが実に美しい野菜です。柔らかいシャキシャキとした歯ごたえが特徴です。

丹波黒大豆を早採りした黒豆の枝豆。10月が旬で、沿道では多くの直売所が並びます。大粒でコクのある味は一度食べたらやみつきです。

京丹波産品の新生 【黒豆の枝豆】



古くから歴史を持つ京都の秋を代表する味覚です。大粒で香り、甘さが引き立つその味は、全国に誇れる王道の味です。



丹波ブランドの重鎮
【丹波栗】

王道を突き進む

【丹波黒大豆】

丹波黒大豆は、大粒でシワがなく煮炊きしても型崩れしないのが特徴です。また、丹波高原の寒暖の差によってうまみが凝縮し、深い味わいを醸します。

道の駅で お買い物



京丹波町の食を堪能できる3つの道の駅。いずれの道の駅も地元の採れたて野菜の販売のほか、地元ブランド産品の加工品や飲食コーナーも充実し、心もお腹も大満足。

道の駅 瑞穂の里 さらびき



国道27号沿い。由良川を見下ろす爽やかなロケーション。特産品の販売のほか、レストランも併設。地元野菜や山野草の直売もあります。



国道173号沿い。緑豊かなリゾートゾーン「グリーンランドみずほ」に隣接。毎日新鮮な地元野菜が多数並ぶほか、地元で窯を構える陶芸家の作品も展示販売。



京都縦貫自動車道「丹波I.C.」から国道9号を北へ約500m。レストラン街とショッピング街がある複合施設。隣接の(うるおい館)では、火・木・土・日と朝採り野菜市を開催。



【栗蒸ようかん】

丹波黒大豆、大納言小豆、丹波栗の三大丹波ブランド産品を贅沢に使用。もっちりとした食感が魅力の逸品。



【瑞穂そば】

平成13年から本格的に栽培が行われるようになり、京丹波の新たな産品として注目を浴びています。



【ぼたん鍋】

京丹波の冬の名物、ぼたん鍋。町内の料理旅館、民宿でどうぞ。



【いつつ屋・丹波牛】

京丹波の大自然で育てられた良質の黒毛和牛、丹波牛。最高の逸品。



【丹波ワイン】

世界食品コンテスト「モンドセレクション」で金賞を受賞したことで知られる高品質の丹波ワイン。ワイン工場、ぶどう畑の見学もできます。また、地元食材を使ったレストラン、ショップも併設。



【銘酒・長老】

京丹波の名山「長老ヶ岳」から命名した、京丹波の気候風土が生んだ地酒。水は年中豊富に湧き出す地下水、お米は京都の地元産のものを使用し、地酒にこだわった銘酒、長老。



【鮎】

和知川の鮎は全国的に高評価を受ける逸品。地元料理旅館などでどうぞ。

飲食店情報は
京丹波町観光協会ホームページ www.kyotamba.org
京丹波町観光協会

京丹波町ホームページ www.town.kyotamba.kyoto.jp
食の京丹波推進の店登録店

感じる

自然の雄大さを感じることができるスポット。
そこに行けばきっと京丹波ならではの体感を得ることができるはず。

自然の雄大さと癒しを感じる



七色の木

丹波高原の雄峰【長老ヶ岳】

標高916.9メートルの山頂から眺める展望は絶景で、青空、雲海、日の出などの景色は格別です。快晴の日には遠く日本海まで望めます。仏主コースの入り口付近には、町指定文化財「七色の木」などの観光資源も見ることができます。



府内唯一の縦穴式鍾乳洞【質志鍾乳洞】

ひんやりとした冷たい空気が漂う中、ライトアップされた洞内は、神秘的な空間を醸し出し、ほぼ垂直な階段で深さ25mの最下層まで下ることができます。周囲にはアウトドア、コテージやキャンプサイトでの宿泊、魚釣りを楽しめるスポットも完備しています。

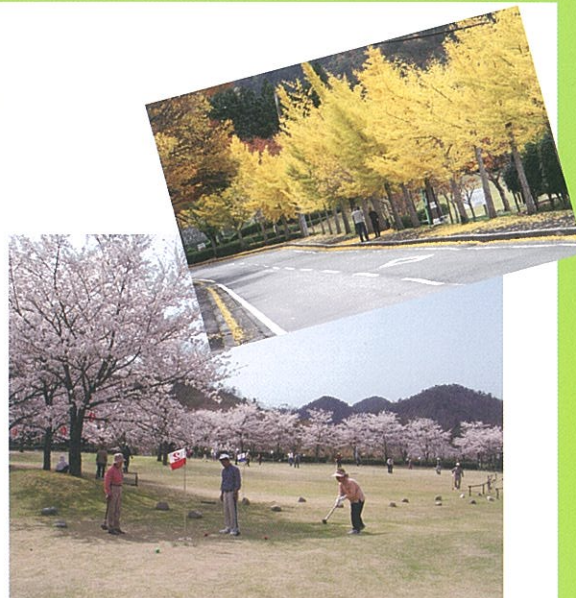
自然が織り成す造形美【琴滝】

町指定文化財の名勝「琴滝」。高さ43mの巨大な一枚岩を伝う水の流れが13弦の琴糸のように美しく、周囲の景色に合わせて四季折々に彩りを変えます。12月には、自然の造形美を活かしたイルミネーションイベント「冬ほたる」が開催され、神秘的な空間を演出します。



丹波高原のさわやかな空気に満ちた公園【京都府立丹波自然運動公園】

多彩な施設で楽しめる京都府立丹波自然運動公園。園内には、週末に大勢の親子でにぎわう子どもの広場やジャンボすべり台、パターゴルフ場、プール、各種運動施設を有しており、一日のんびりできる癒しゾーンです。



四季を感じながらグラウンドゴルフを楽しむ【グリーンランドみずほ】

緑に囲まれた総合運動公園施設。年間を通じてグラウンドゴルフが楽しみ、京阪神からの利用も多くあります。特に4月にはコースの外周に桜が咲き乱れる光景は圧巻です。ほかにも各種運動施設、宿泊施設、レストラン、道の駅を完備しており、様々な用途に対応しています。



山と川と木を満喫する空間【ウッディパルわち】

コテージ、キャンプ場を完備する宿泊施設。長老ヶ岳の登山客や親子連れのアウトドアなど、幅広く利用いただいています。施設の前には上和知川が流れ、川遊びをする子どもの声が聞こえてきます。



四季折々の野草を楽しむ【わち山野草の森】

12haの園内には、珍しい植物から道端や野山に咲く草花まで約900種類が息つき、四季折々の風景を楽しむことができます。一年を通して、山野草展の開催や、苔玉、寄せ植え教室、木工クラブ体験などのイベント開催されており、見て、触れて、感じて、自然を満喫することができます。

由良川に触れる【カヌーコース】

由良川に常設されたカヌーコース。国体の会場にも選ばれたコースで、初心者から上級者まで誰でもカヌーの醍醐味を体験することができます。事前申込制。



自然を生かした遊び場ガイド

丹波高原の自然を生かした遊び場。芝生でかけっこ、川遊び、野草散策など、あなたにあった遊びがきっとある。

人々の暮らしの中から生まれ、地域の歴史や特色を伝える「伝統芸能」。それぞれに先人の熱い思いが刻み込まれ、こよなく愛する人たちへの手によって受け継がれています。

和知 文七踊り

音頭とりと踊り子の粋な掛け合いが魅力の「和知文七踊り」。江戸時代中期から浄瑠璃くずしの音頭が愛好され、そのリズムによって踊りが生まれたと伝えられています。人形浄瑠璃の代表的な頭「文七」がその名の由来ともいわれています。8月の下旬に開催される和知ふるさと祭りでは訪れた人たちがいっしょになって文七踊りを踊ります。



丹波地域に伝わる「丹波八坂太鼓」は、江戸時代に牛の疫病が流行り、病退散の祈りを込めて尾長野八坂神社の神前で打ち鳴らしたことが起源とされています。昭和46年に地元の人たちの手で「尾長野八坂太鼓」として復興し、その後、「丹波八坂太鼓」と組織を変更し、現在は5月末に行われる「八坂神社御田祭」などで披露されています。

丹波 八坂太鼓



和知太鼓

力強いバチさばきと勇壮な響きで魅せる「和知太鼓」。源流となる広野太鼓の起こりは、お伽草子「酒呑童子」に関わりがあるとされており、平安時代中期、天皇の命を受けた源頼光が大江山の酒呑童子という鬼の討伐に向かう途中に激しい雷雨に見舞われ、広野区の藤森神社で雨宿りをして出陣する際、村人たちが頼光の武運長久を祈願して打ち鳴らした奉納太鼓が始まりと伝えられています。



観る 地域の息づく 古の心とカタチ

〔伝統芸能編〕



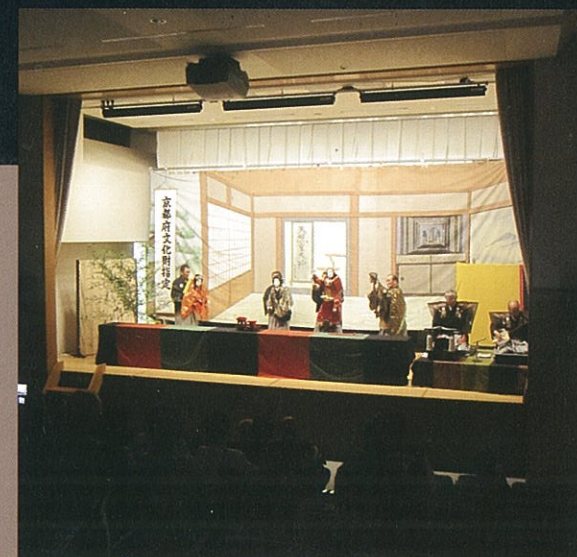
三業一体の妙技が光る「和知人形浄瑠璃」。江戸時代末期に大迫村(現大迫区)で起こったと伝えられています。一人で大ぶりの人形を操る「一人遣い」が特徴で、喜怒哀楽の感情を語り分ける「語り」、場面によって多彩な音色を奏でる「三味線」、この三者が一体となって地元に伝わる物語などを切々と綴っていきます。

和知 人形浄瑠璃



即興ネタで笑いを誘う「小畑万歳」。江戸時代、毎年正月から春先にかけて現在の兵庫県から三人一座の万歳が訪れ、各戸を回って芸を披露していました。その衣装と鼓が小畑地区に残っていたことから昭和9年に地元有志が播磨流の万歳を披露したのが近代での上演の始まりと伝えられています。

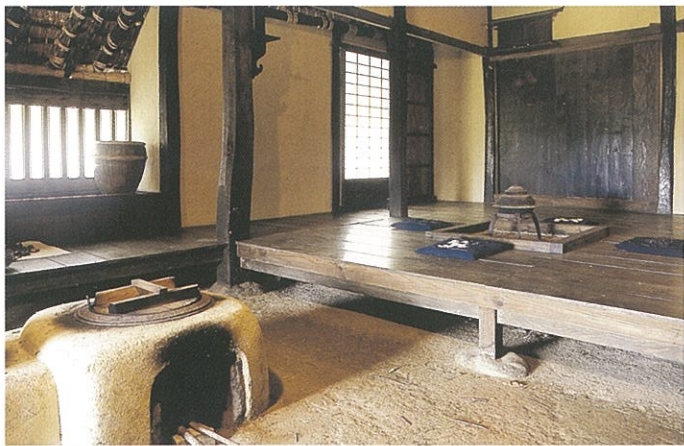
小畑万歳



道の駅「和」道路情報センター 「伝統芸能常設館」

道の駅「和」道路情報センター内「伝統芸能常設館」では、原則月一回、月末土曜日午後1時30分から人形浄瑠璃のほか、和知太鼓、小畑万歳、文七踊りなどの定期公演を開催しています。公演内容は月によって異なりますので、詳しくは、道の駅「和」までお問い合わせください。

お問い合わせ ☎0771-84-1008



わたなべけ じゅうたく
渡邊家住宅 **下山**

建築年代は定かではありませんが、藤区にある享保10年(1725)の祈禱札からこの頃に建てられたものより古いとされ、16世紀に遡るといわれています。茅葺き、入母屋造り、平入りの民家で、京都府北部では最古に属し、昭和50年に国の重要文化財に指定されました。



たいふくこうじ
大福光寺 **下山**

寺伝によると、延暦年間(782~806)に建立し、その後、足利尊氏が現在の地に移したと伝えられています。本尊に毘沙門天が祀られていることから「藤の毘沙門さん」として親しまれており、明治37年に本堂と多宝塔が国の重要文化財に指定されました。ほかにも、国の重要文化財である方丈記写本、玉篇をはじめ、府や町の指定などを受けた文化財を数多く所蔵しています。



あじょうさん さんしょじんじや
阿上三所神社 **坂原**

阿上三所神社は和知地区内に4社(坂原、本庄、下粟野、細谷)あり、本庄阿上社を惣社として、坂原には観応元年(1350)に勧請されました。本殿は、柿葺きの三間社流造りで、装飾細部や妻飾りが繊細で現在も良い状態で保存されています。平成17年には、本殿が府の文化財に指定、拝殿が府の文化財に登録されました。



しょううんじ てんそくどう
祥雲寺天足堂(ぼけ封じ寺) **大迫**

境内にある天足堂は、寛永16年(1639)に入寺した周防国(山口県)天足香禅和光が建立。村人たちの悩みを聞いたり、頭の病気を独特の神通力で癒したりしたと伝えられ、頭痛やぼけにご利益があると崇められてきた。今も「天足さん」の名前で、ぼけ封じ寺として多くの人に親しまれている。樹齢300年のヒノキの双樹を長生きの霊木とする。



めいりゅうじ 観音のんどう
明隆寺観音堂 **下粟野**

室町時代後期の建立と見られ、堂宇は茅葺き(鉄板仮葺き)の寄棟造りで、年代のわかっていない村堂(特定の宗派に属さず、僧侶が常住しない堂)としては全国的に見ても最も古いものの一つであり、平成7年に国の重要文化財に指定されました。60年に1度、堂内の観音菩薩立像(平安時代後期作)を開帳する開扉大供養の祭礼があり、最近では平成12年に行われました。



塩谷古墳群
丹波地区の中央部の小高い丘の上に築かれた12基の古墳から成り立つ古墳群で、5号墳を中心として取り囲むように11基の古墳が築かれており、5~6世紀にかけて継続的に築造されたと推測されています。ここから出土した2体の巫女埴輪は府の文化財に指定されており、古墳群についても平成7年に町の文化財に指定されています。

曾根



くで じんじや
九手神社 **豊田**

長元2年(1029)、藤原定氏が京都の松尾大社から勧請し、創建したと伝えられています。三間社流造り、檜皮葺きの本殿は、明応7年(1498)に再建、幾度の補修を経て、昭和9年に解体修理が行われて創建当時の姿となりました。本殿は大正10年に国の重要文化財に指定され、昭和61年にはさらに棟札2枚が追加指定されました。



梅田春日神社
文永年中(1264~1275)に龜山院により大和国三笠山から勧請したと伝えられる本殿は、柿葺きの三間社流造りで、境内社猿田彦社本殿(1326年創建)とともに、昭和58年に府の文化財に登録されました。猿田彦社は、「水原の庚申さん」として親しまれており、古来より60年ごとの庚申の年に大祭(御開帳) 大祭より30年後に中間祭(中間帳)が行われています。



質美八幡宮
社伝によると、天暦年間(947~957)に社殿が建立されたといわれています。五間社、切妻造りの建物で、兵火などにより幾度も焼失していることから、現在の本殿は寛政8年(1796)に再建されたといわれています。平成5年に本殿と産子集会所が府の文化財に登録されるとともに、府の文化財環境保全地区にも決定されました。



長源寺(癌封じ寺)
貞観14年(874)、文徳天皇の第一皇子惟高(これたか)新王が皇立継承に敗れて出家、建立(寺伝)。名を染見りょうかくと改めて諸国行脚の旅に出る。出野を訪れた際、村人たちに癌封じの秘法を伝授したという伝説にちなんで癌封じ寺として信仰を集めている。境内には初代開基様として、惟喬親王の尊牌がおまつりしてある。なお、向かいにあるお椀を伏せたような山は出野城のあった所で、現在の氏神社となっているが、和知金半が一望できる。今の寺が167年前(平成22年現在)まであった寺屋敷は、現在地より山すそ200m東南に行つたところにより、「殿池」といって城主の産湯の池が今もある。

「文化財編」
観る
はるかな時代を
巡る文化財

町の歴史や風土、文化を知ることができ「文化財」。当時の暮らしや時代背景を後世に伝える、美術工芸品、史跡、建造物など価値あるものが、町内各所に数多く現存しています。

木々や草花が色つきはじめ、生命の息吹を感じるこの季節、
 やわらかくて温かい日差しを浴びて、町内各所で桜が開花し、
 艶やかな薄紅色の花びらが多くの人々の心を引きつけます。
 新緑が映える中、大空を優雅に乱舞するこいのぼりの大群、
 時代の移り変わりを伝える「ふるさと人形展」、
 五穀豊穡を願う尾長野区の伝統行事「御田祭」など、
 歴史と伝統に彩られながら京丹波町の春はにぎわいを見せます。

歳時記 春 SPRING



丹波ちびっこまつり

毎年、5月5日に京都府立丹波自然運動公園で開催される恒例イベント。会場となる芝生広場では多くの屋台や体験コーナーが設けられ、毎年、多くの家族連れでにぎわいます。



八坂神社御田祭

尾長野区で毎年5月末の日曜日に行われる京都祇園八坂神社の御田祭。昭和45年から始まり、今日まで受け継がれています。神前に供えられた苗を、すげ笠に白と赤の着物をまとった早乙女8人が雅楽の調べと八坂舞の巫女の踊りに合わせ苗を植えていきます。



ふるさと人形展

毎年4月上旬に開催されるふるさと人形展。ひな人形のほか、昔懐かしい土人形や昔の名力士の人形など約2,000点が豪華に飾られます。みずほ人形の家みやびで開催。

質志鐘乳洞公園まつり

5月3日、4日に開催されるゴールデンウィークイベント。地元住民による屋台も出され、地域ならではの温かみのある手作りのおまつりとして親しまれています。



- 4月上旬 猿田彦神社春季大祭 [猿田彦神社] 水原
- 4月上旬 ふるさと人形展 [みずほ人形の家みやび] 質美
- 4月17日 子安権現春祭[新宮寺] 豊田
- 5月3日 導観稲荷神社春の大祭 [導観稲荷神社] 須知
- 5月3日・4日 質志鐘乳洞公園まつり [質志鐘乳洞] 質志
- 5月5日 丹波ちびっこまつり [府立丹波自然運動公園] 曾根
- 5月最終日曜 天足祭[祥雲寺天足堂] 大迫
- 5月最終日曜 八坂神社御田祭 下山
- 毎月第4土曜 伝統芸能定期公演 [道の駅「和」伝統芸能常設館] 坂原

みずほ夕涼み大会

毎年8月中旬に瑞穂地区 桧山商店街でされる納涼大会。地元有志による屋台の出店のほか、ステージではライブパフォーマンスや地元産の瑞穂そばを使ったイベントなど楽しい企画が目白押しです。



たんば夏まつり

8月5日に開催される道の駅丹波マークスと須知商店街を中心として開催される夏まつり。花火大会、七夕まつり、イルミネーションなどが実施されるほか、有名芸能人によるライブパフォーマンス行われ、多くの人でにぎわいます。



歳時記 夏 SUMMER



和知ふるさと祭り

JR和知駅横、和知ふれあいセンター前広場で開催される納涼大会。毎年、有名芸人によるライブや多くの屋台が出店し賑わいを見せます。また、地元で伝わる「文七踊り」が中盤で行われ多くの人たちが踊る姿は圧巻です。8月下旬に開催。

6 7 8

- 6月中旬～下旬 ひい地蔵まつり [福昌寺] 広瀬
- 7月第1日曜 長源寺観音まつり [長源寺] 出野
- 8月5日 たんば夏まつり [丹波マークス、須知商店街周辺] 須知
- 8月中旬 みずほ夕涼み大会 [桧山商店街周辺] 橋爪
- 8月中旬 ばち供養 [道の駅「和」] 坂原
- 8月下旬 和知ふるさと祭り [JR和知駅前広場] 本庄
- 毎月第4土曜 伝統芸能定期公演 [道の駅「和」伝統芸能常設館] 坂原



ばち供養

8月中旬に道の駅和みで開催されている「ばち供養」。和知太鼓保存会の主催で毎年開催され、古くなったばちを焼納し供養したあと奉納太鼓が打たれます。道の駅和の夏の風物詩です。

一本々の緑が鮮やかさを増し、日増しに暖かさを感じるこの季節、
 抜けるような青空から温かい太陽の光が降り注ぎ、
 あふれるような笑顔を見せて遊ぶ子どもたちや、
 由良川の流れを楽しむカヌーの姿が京丹波町の風景を彩ります。
 そして、今も昔も多くの人々を魅了する「夏祭り」。
 地域の特徴を生かしたさまざまな催しが行われ、
 ふるさとの風情を楽しみながら、
 ゆったりとした心地よい時間が流れます。



あっぱれたんぼ

京都府立丹波自然運動公園に隣接する田園に、古代米などの色や種類が異なる稲苗を植え付けし、アートを描きます。5月下旬の田植え作業、10月中旬の稲刈り作業は、参加者を募集し、体験型のイベントとして100人を超える人でにぎわいます。田植え後は、浮かび上がるアートの様子を展望台から観ることができます。



京丹波 ● 食の祭典

京丹波町の最大の魅力である「食」をテーマにした、京丹波町最大のイベント「京丹波 ● 食の祭典」。ご当地グルメナンバーワンを決定する「屋台グランプリ」の開催や、ライブステージなど、秋晴れの下で、京丹波の食を一日堪能することができます。10月下旬開催。



京都丹波ロードレース

京丹波町の一大イベントとして毎年開催している「京都丹波ロードレース」。毎年、11月3日(祝)、京都府立丹波自然運動公園を発着とするコースで行われます。コースはハーフマラソン、10km、5km、3kmファミリーの部で構成され、家族連れからランナーまで幅広く参加されます。

和音祭(わおんざい)

9月にアグリパークわち(農林業体験公演)で開催される大自然の山間で行われる自然と調和した音楽イベント。地元出身ミュージシャンの出演のほか、京丹波町の食が堪能できる飲食ブースも出店。



レトロロックフェスティバル in 京丹波

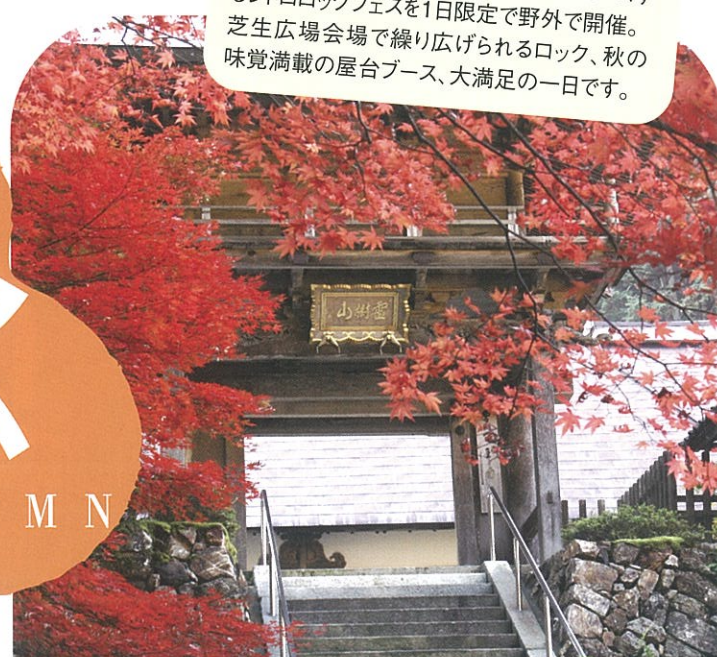
10月中旬にグリーンランドみずほで開催する「京丹波の食」と「ロック」が融合したコラボイベント。京都市内のライブハウスで定期開催されているアルファステーションでおなじみの藤見宏氏、しもぐち☆雅充氏がプロデュースするレトロロックフェスを1日限定で野外で開催。芝生広場会場が繰り広げられるロック、秋の味覚満載の屋台ブース、大満足の日です。

—自然の恵みを受けてたわわに育った黄金色の稲穂、白くかわいらしいソバの花、それらを取り囲むようにして咲き乱れる真紅の彼岸花。収穫の時期を迎え、農村風景は色鮮やかなコントラストに包まれます。イチョウやモミジが紅葉し、一年の中で最も美しい色彩を放つこの季節、町内では、運動会、秋祭り、文化祭などの催しが行われて活気づきます。

歳時記

秋

AUTUMN



質美八幡宮秋祭り

笛や太鼓の演奏とともに樹齢数百年を経た老杉の並木が続く約400mの参道をゆっくり練り歩くとお祭り。京都府の無形文化財に指定されています。10月中旬に開催。



熊野神社田楽

京丹波町上乙見集落にある熊野神社で10月上旬に行われる。熊野神社田楽は京丹波町指定無形民俗文化財に指定されています。



葛城神社秋祭り

一言主命を祭神とする葛城神社の八朔祭。五穀豊穡と村の安泰を祈り、6基の曳山・御輿が町内を勇壮に練り歩きます。10月中旬に開催。

- 9月上旬 八田の行者祭り [行者大菩薩] 八田
- 9月下旬 和音祭[アグリパークわち] 長瀬
- 10月上旬 熊野神社田楽[熊野神社] 上乙見
- 10月中旬 阿上三所神社大祭[阿上三所神社] 下栗野 細谷 本庄 坂原
- 10月中旬 葛城神社秋祭り[葛城神社] 口八田
- 10月中旬 質美八幡宮秋祭り[質美八幡宮] 質美
- 10月中旬 ニノ宮神社秋祭り[ニノ宮神社] 橋爪
- 10月中旬 レトロロックフェスティバル in 京丹波 [グリーンランドみずほ] 大朴
- 10月中～下旬 DONと来い丹波八坂公演 [旧須知小学校] 須知
- 10月下旬 京丹波 ● 食の祭典 [府立丹波自然運動公園] 曾根
- 11月3日 京丹波ロードレース [府立丹波自然運動公園] 曾根
- 11月中旬 京丹波町文化祭 [和知ふれあいセンターほか]
- 11月中旬 和知ふれあい祭り [道の駅「和」] 坂原
- 毎月第4土曜 伝統芸能定期公演 [道の駅「和」] 伝統芸能常設館] 坂原



歳時記

冬

WINTER

琴滝イルミネーションイベント「冬ほたる」

自然の造形美を活かしてイルミネーションが輝く冬ほたる。関西屈指の65万球のLED電球を使用し、神秘的な空間を演出しています。

- 12月上旬～24日 琴滝イルミネーションイベント 冬ほたる[琴滝公園] 市森
- 12月中旬 瑞穂新そば祭り [瑞穂そば体験道場] 水原
- 1月19日 蒲生厄神祭 [蒲生八幡宮] 蒲生
- 毎月第4土曜 伝統芸能定期公演 [道の駅「和」] 伝統芸能常設館] 坂原



瑞穂新そば祭り

瑞穂地域の新名物、瑞穂そば。秋のそばの収穫に感謝し、新そばをテーマとしてまつりを開催。当日は、王道の手打ちのざるそばのほか、創作新そばメニューも販売される。12月に開催。

「冬ほたる」が幕を閉じると、暮れ行く年を惜しみつつも、新しい年の始まりを迎えます。そして、寒さが厳しさを増し、山々が雪化粧に包まれると、京丹波町の町並みは冬景色に様相を変え、ひっそりと落ち着いた空気が漂います。

—木々が葉を落とし、木枯らしが吹き出すと、いよいよ冬の到来。お正月に向けた黒大豆の収穫や出荷作業が一段落し、名勝・琴滝を舞台にしたイルミネーションイベント「冬ほたる」が幕を閉じると、暮れ行く年を惜しみつつも、新しい年の始まりを迎えます。そして、寒さが厳しさを増し、山々が雪化粧に包まれると、京丹波町の町並みは冬景色に様相を変え、ひっそりと落ち着いた空気が漂います。





JR	嵯峨野線(山陰本線)園部駅下車 JRバスで20分 / 山陰本線下山駅下車
自動車	京都駅から 国道9号・京都縦貫自動車道にて約1時間10分 (60km)
	舞鶴若狭道 丹南篠山口から40分 (35km)
	大阪池田から 国道423号・国道9号経由にて約1時間20分 (55km) 国道173号にて約1時間20分 (60km)

京丹波町

産業振興課 <http://www.town.kyotamba.kyoto.jp>

〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生八ッ谷62-6

TEL 0771-82-3808 FAX 0771-82-2700